

4-1-2. 事務事業の評価

No.	管理コード	対策(どうする)	20年度までの状況	あるべき姿	課題 (乖離の原因)	具体的な取り組み	所管部課 (だれが)	目標値(数値化できるもののみ)			開始 年度	目標 年度	スケジュール(年度)(いつまでに)							達成度 (20年度末)		
								開始	現在 (H21.4.1)	最終			19	20	21	22	23	24	25		26	
1	【4121-1】	全事務事業の外部評価の実施	・職員による内部評価を平成13年度から17年度まで行っているが、十分な成果は認識されておらず、効果の低い事業に対する疑問や職員の評価の甘さ等がある。市民の視点を意識した評価になっていない。	・職員が市民の視点に立ち、市民ニーズを的確にとらえ、内部評価がきちんと実施している。	・職員評価に甘さが出ている。成果に対する次年度へのフィードバックがなされていない。 ・職員の市民視点の欠如、市民ニーズの把握不足。	「市民による行政評価委員会」を設立し、全事務事業の必要性、効率性、有効性を評価する。 <b>(完了)</b>	総務部 行政改革推進課	-	-	854全事務事業(19年度)	18	19	⇒									100%
2	【4122-2】	課題となっている特定事業の評価	・「市民による行政評価委員会」の評価を参考に、予算反映ができていない事務・事業を対象として、内部評価を行っている。	・予算に反映できる、より効果的で実効性のある評価がきちんと実施されている。	・評価結果が予算に十分反映されていない。	企画財務課と行政改革推進課で抽出した、財政悪化の起因となっている事務・事業を評価し、予算に反映させる。	総務部 行政改革推進課	-	-	評価事業数 20本	21	21		⇒								-